

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位/円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
記念事業積立資産	666,000	550,000	496,000	720,000
合計	666,000	550,000	496,000	666,280

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位/円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
記念事業積立資産	720,000	0	(720,000)	(0)
合計	720,000	0	720,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位/円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	0	0	0
什器備品	0	0	0
合計	0	0	0

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

(単位/円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営補助金	国	0	5,800,000	5,800,000	0	-
運営補助金	市	0	5,800,000	5,800,000	0	-
助成金						
連合補助金	連合	0	0	0	0	-
合計		0	11,600,000	11,600,000	0	